



オオイチョウタケは三重県ではスギタケとも呼ばれ、初秋の限られた時期に山間部のスギ林に発生する貴重なきのこです。

三重県ではオオイチョウタケの人工栽培化に取り組み、このたび完全空調による人工栽培化に成功したため、栽培マニュアルを作成しました。

この栽培方法を用いると、さまざまな系統を用いてオオイチョウタケの通年栽培が可能となります。

※栽培方法については特許出願済み  
出願番号：特願2014-061416

## オオイチョウタケ空調栽培マニュアル

2016年3月発行

〒515-2602 三重県津市白山町二本木3769-1

TEL 059-262-0110 FAX 059-262-0960

E-mail: ringi@pref.mie.jp

<http://www.pref.mie.lg.jp/ringi/hp/index.htm>

# オオイチョウタケ

## 空調栽培マニュアル



三重県林業研究所

# ◆ オオイチョウタケ栽培工程(空調栽培)◆

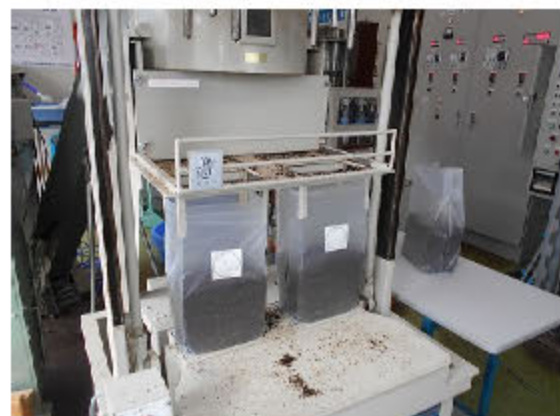
## 培地作製



パーク堆肥に米ぬか、ビール粕等の栄養体を混合し含水率を62%前後に調整します。

## 袋詰め

1日



ポリプロピレン製の袋に培地を2.5-3kg程度詰めます。

## 殺菌



培地内の温度が118℃以上で1時間程度維持し、培地内の害菌を殺菌します。

## 放冷・接種

1日



クリーンな条件下で1晩放冷した後オオイチョウタケ種菌を接種します。

## 培養

2カ月



温度20-22℃、湿度70%程度の条件下で2カ月程度培養します。

## 菌床埋込

1日



菌床をほぐし、大型の容器の片隅に菌糸の伸びしろを残して埋め込みます。

## 被覆



埋め込みに用いたパーク堆肥が乾燥しないよう表面をビニール等で覆います。

## 育成

4カ月以上



温度10℃、湿度70%前後の条件下で、4カ月以上育成し菌糸の伸長を促します。

## 高温処理

2カ月



温度24℃、湿度70%程度の条件下で2カ月程度培養します。

## 発生処理

1日



埋め込んだ菌床の覆いを取り除き、発生室へ移動します。

## 発生

3週間



温度18℃、湿度95%前後の条件下でこの発生を促します。

## 収穫

1日



発生処理より約3週間で収穫できます。